

第17回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」

〒540-8508

大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラクレバス内
TEL:(06)6910-8800 FAX:(06)6910-8837

2012年9月発行

留学生さとおやの会 10周年を迎えて

発足 10年記念式典・パーティ

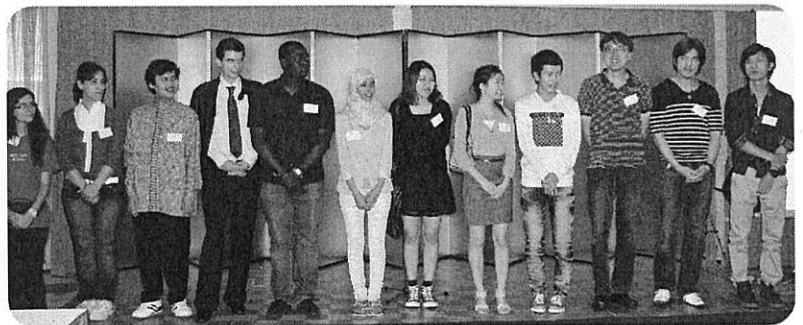
2003年4月4日に発足したこの「留学生さとおやの会」ですが、今年で10年目を迎えました。昨年、産経新聞厚生文化事業団より表彰されましたので、10周年をお祝いして記念式典とパーティを開催しました。里親さんと留学生、更には過去に受け入れた留学生にも里親さんからお声掛けしてもらいました。なんと16カ国の国々からの留学生が大勢集まりました。

式典では西村貞一代表幹事のあいさつの後、来賓の大阪商工会議所 西田賢治常務理事、社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 大船一美専務理事、大阪日本語教育センター 西澤信夫副センター長にお祝いのお言葉をいただき、更に、松井大阪府知事よりもお祝いのメッセージを頂戴し、披露させていただきました。次に今回過去6回以上留学生を受け入れていただいた里親さん14名に感謝状の贈呈を行い、代表して10

年間毎年里親を引き受けていただいた4名の方に西村代表幹事より感謝状を受け取っていただきました。

隣の会場に移動して行われたパーティはエール学園の萩原大作校長先生の乾杯のご発声でスタート。ニューコクサイの美味しいお料理に舌鼓を打ち、過去の行事で撮りためた写真をスライドショーで放映しているのを懐かしく見たり、久しぶりに会う里親と里子、また里子同志、里親同志、ワイワイ賑やかに旧交を温めたりしました。途中、織田匡子幹事の司会で留学生へのゲームやインタビュー、最後にはみんなで歌を歌い、楽しいひと時を過ごしました。

あつという間の10年、ようやくの10年、これからも引き続いてこの会が留学生と日本人家庭とのかけ橋となり、中身の濃い国際交流ができます事を願っています。



留学生里親制度との出会い

「留学生さとおやの会」発足10周年を心よりお祝い申し上げます。

顧みますと、35年前にはインターネットやe-mailは無く、国際電話は非常にお金がかかりました。このため、母国の両親に連絡することもままならず、文化・習慣が異なる大阪で不安を抱えながら生活する留学生は少なくありませんでした。

そこで、大阪商工会議所（以下「大商」）は、須磨大阪特命全権大使の助言と関係者の支援・協力を得て、留学生の不安を和らげるとともに、異文化理解の促進や地域の国際化を目的に、1978年、留学生里親制度をスタートさせました。当初、扇町にあった留学生会館で年末餅つき大会やエスニック料理バザーが開催され、私自身参加した記憶がございます。

四半世紀にわたる留学生事業を通じて、延べ里親は16百



家庭、里子は34百人にものぼり、異文化に対する相互理解と地域の国際化が進み、数々の国際交流団体も誕生いたしました。所期の目的を果たす事ができたことから、大商はパイオニアとしての役割を終えたとして、2003年3月を以て留学生里親事業を閉じる事となりました。

当時、ボランティアに支えられた社会的意義のある留学生里親事業を何故辞めるのかとの大変厳しい意見を頂戴し、責任者として悩んでおりましたところ、大商留学生委員長を務めていただいていた西村代表幹事はじめ里親有志により「留学生さとおやの会」を発足させ、大商留学生事業を継承いただけることになり、窮地を救っていただきました。改めて深謝申し上げます。

このような経緯で発足した「留学生さとおやの会」が地道な活動を積み重ねられ、昨年、「産経市民の社会福祉賞」を受賞されましたことを、我がことのように嬉しく思いますとともに、ご関係者の並々ならぬご尽力に深く敬意を表します。

これを機に里親と留学生の交流が一段と深まり、草の根レベルの交流の輪が益々大きく広がっていく事を心から願っています。



大阪商工会議所
西田 賢治

「留学生さとおやの会」発足10周年に寄せて

10周年、おめでとうございます。そして、ありがとうございます。

「留学生さとおやの会」が発足した2003年は、日本で学ぶ留学生が10万人を超えた年であり、市民レベルでの幅広い留学生支援の必要性が問われた時期でもありました。

10年の間にこのさとおや制度のおかげで、多くの留学生が日本人家族と出会い、直に交流できる貴重な時間を持つことができました。

本センターの学生や卒業生が時折、この制度によって知り合った方々との交流の様子や感じたことを話してくれます。日本



人との家族ぐるみの交流は日本で学ぶ留学生にとって、普段の留学生活では体験できない、かけがえないページとなっています。文化や習慣が違う土地で家族の一員のように迎えてくれる日本人の家族がいることは、留学生にとって嬉しいことであり、非常に心強く感じているようです。



日本学生支援機構
大阪日本語教育センター
西澤 信夫

日頃留学生をあたたく見守っていただいている里親の皆様、1978年から始まった大阪商工会議所の「留学生里親制度」を継承していただいた幹事の皆様、本当にありがとうございます。里親の皆様は里子の留学生を推薦させていただいている日本語教育機関の一つとして、この場をお借りして心より感謝申し上げます。そして、これからも留学生との末長いおつきあいをどうぞよろしくお願いいたします。

この10年を振り返って

留学生さんとおやの会発足10周年おめでとうございます。

10年間里親に登録していることから、思いがけず感謝状をいただきました。ここ数年間は母の介護の為に、里親らしい活動ができませんでしたので、少し気恥ずかしい思いをしています。

1996年に主人の友人に勧められて里親になりました。タイ、中国、台湾、インドネシア、ベトナム等からの留学生20数人と出会いましたが、台湾の呂嘉恵さんと李暁菁さんとは今も家ぐるみのお付き合いが続いています。

2007年の里子の周升千君は大阪府立大学を卒業し、現在は中国江蘇省蘇州大学外国語学院日本語学部で中国人に日本語を教えています。陳友駿君は大阪市立大学を卒業し、現在は上海国際問題研究所で日本研究をしています。二人から中国旅行に何度も誘われていますが、行く機会がありません。

対面の会や新年交流会、秋の遠足には、里子や孫を誘って

参加するように心がけています。

2002年に孫と参加した秋の遠足で、松浦さんの里子の友達でインドネシアのステロラ・スノヨビさんに出会いました。彼女は私の正式な里子ではなかったのですが気が合いました。その後我が家によく遊びに来て、一緒に食事をし、孫とも友達感覚で接していました。また、私の趣味である製本やちぎり絵に興味を持ってくれたので、作り方を教えました。彼女は作品を自分の部屋に飾っているようです。現在は関東の大学で管理栄養士を目指して勉強中ですので、頻繁に会う事が出来ないのが残念です。彼女の夢が実現することを願っています。

2012年の里子はベトナムのVAN ANHさんとHIEP君です。我

が家の家の近くに住んでいます。礼儀正しく、仲の良い姉弟です。受験勉強とアルバイトの忙しい合間に、気軽に我が家に来てくれればと思っています。

私の視野を広げ、また孫に他国の文化や風習を教えるためにも、里親をできるだけ長く続けたいと思っています。



園原 環江
(大阪市)



ステロラ・スノヨビと家族

感謝状を頂いて

さんとおやの会の里親になり、10年間継続して里子をお世話してきたとして感謝状を頂きました。ありがとうございますという感謝と恐縮した気持ちと共に、もう10年も経っていたんだ、ということに驚きました。

里親になり子ども達をお世話するようになったきっかけは、大阪商工会議所時代に里親事業を手伝わないかと友人から誘われ、軽い気持ちで始めたものでした。その友人も海外に行ってしまう、残った私が幹事というお役まで頂いております。不思議なものです。初めの頃は、どんな風に里子を迎えるか要領も何も分からないまま、日本語もほとんど話せなかった里子とどんな風に対応していたのかなと思うと恥ずかしくなります。

初めて家に来る時は、地図を書いて駅まで迎えにいってということをしていました。一人で来ようとして来れなくて、どこにいるの

か分からなくなり、公衆電話から必死な声で電話がかかってきたこともありました。もちろん駅まで戻ってもらうのですが、日本語もまだまだですし英語も通じないしで会うまでがなかなかだったことを覚えています。こんなことの後に会って話をする時には、なぜかすごく親近感を感じてしまうのです。今では住所があれば、携帯で調べながら家まで一人で来ます。

この会ではこんな風に対応してくださいとかこうしてくださいなどの細かい取り決めは特になく、里親の一般的な常識的判断に任されていますので、自由に思うままにやってこれたからこれだけ続いたのかとも思います。我が家なりのスタイルも出来上がってきたように思います。

彼らの将来を語る目を見ていると私がパワーをもらいます。今まではアジアの子ども達でしたが、今年は初めてアフリカからの里子を迎えました。どんな風な交流になるのか楽しみにしています。



田中 八重子
(高槻市)



「留学生さとおやの会」10周年を迎えて

この度(2012年6月30日)は「留学生さとおやの会」10周年記念式典及びパーティーが華やかに執り行われまして、誠にご同慶の至りです。思い起こしますと1978年(昭和53年)に大阪商工会議所国際部が当時としては大変ユニークな「留学生里親制度」を始められたのが発端になります。その制度は25年間続きましたが、社会情勢が変わってきたこともあり、2002年に廃止されることになりました。1978年の発会当初から参加していた



私はそのことを大変残念に思い、何とか継続することが出来ないのかと、当時この会の委員長をしておられた西村貞一様始め幹事の皆様方と何度も話し合いの機会を持ちまして、現在の「留学生さとおやの会」を立ち上げたのです。その会が今年10周年を迎えたのですから、

よくぞあの時あきらめずにいい形で会を継続出来たものだと感慨ひとしおです。

これからの日本は好むと好まざるにかかわらず国際化の道をたどるでしょう。そして数々のイノベーションのためには留学生との交流が一番よい方法だと私は思います。

ちなみに私はこの制度の1期生として、1978年の発会の時に紹介されたスリランカの留学生との交流が延々と今も続いていて、留学生の国スリランカは私の第2の祖国になっているのです。大きい志を持って来日した留学生とお互いに学び合ったことで、私の人生は大きく変わりました。それぐらい留学生は大きいパワーを持っているのです。

皆様方も今後共留学生と共に歩まれて、人生を豊かな実り多いものにされますように願って止みません。



日下淑子
(尼崎市)

留学生さとおやの会 10周年に想う

私が大阪商工会議所の留学生制度のお手伝いをさせていたいただいたのは今から12~13年前の事だったと思います。

諸事情があってその会が解散した折にサクラクレパスの西村貞一社長さんを中心として新しく民間で「留学生さとおやの会」を立ち上げることになり、当時メセナボランティアグループ「ふれあい独楽」の代表をさせていただいていたので、「お役にたてるなら」とお誘いいただくままに幹事の仲間に入れていただきました。ベテラン揃いの中で門外漢の私は一人、それでも幹事会・



対面の会・新年交流会と参加させていただくうちに、だんだんみなさんへの愛着と信頼感が深まってきました。

片言の英語や筆談で話し、交流していると、留学生さんもすぐに打ち解け、心が通じ合え

たように感じました。岡倉天心の“Asia is one”、ウォルトディズニーの“It's a small world”を、身を持って体験させていただきました。“仲良くなるのに理屈は不要”だとしみじみ思いました。

昨年10月留学生さとおやの会が産経市民の社会福祉賞をいただくことになり、表彰式に参列させていただいて、改めて歴史の重みと深さを感じました。そして、6月30日10周年記念式典に参列、16カ国の留学生さんたちがステージに並んで、それぞれのお国言葉で挨拶なさるのを拝見したとき、ぐーっと感動がこみ上げてきました。

「さとおやの会のお仲間に入れていただいて本当に良かった!!」をしみじみ噛みしめた私でした。



織田匡子
(寝屋川市)

感謝状留学生さとおやの会 10周年によせて

大阪商工会議所の「留学生委員会」の里親事業から「留学生さとおやの会」として発足してから早いもので10年がたちました。その間多くの留学生との出会いと別れを経験しました。母国に帰っても時々連絡をくれる留学生やどうしているのやら音信不通の学生、日本でがんばっている学生など様々です。

この10年間で色々なことがありました。中でも印象に残っているのはイスラム教の結婚披露宴に招待されたこと。色々な国の料理が食べられたことです。イスラムの結婚披露宴は、男女別々に会場に入り、食事のときも別々に座ります。私たち



我が家でのパーティ

〈私と夫〉も別々にされましたが、外国人ということで、後で一緒になりました。とても興味深く、又、勉強になりました。

料理のほうは、留学生にはなにかしら国の料理を作ってもらいました。中国の料理から、イスラムの料理(ハラル料理です)、インド、ネパール、ホンジュラス、メキシコ、イラン、チェコスロバキア、ロシア、モロッコ、フランス、台湾、エジプトなど料理で世界一周ができそうです。

この会に参加して、本当に良かったと思います。これからもこの会が発展していくことを願っています。



松浦 真樹
(吹田市)

うれしかったこと

ゴドヌロカーと申します。アフリカのベナンからきました。私の里親は田仲さんの家族です。初めてはちょっと心配していま



8月の高槻まつりの日に甚平を着て

した。里親となるのですか、習慣もちがうので うまくいけるかどうか心配していました。でも里親さんといろんな事をして、本当によかったです。里親さんの家で、いろんなパーティーをして、思っていたよりずっとよかったです。時々国へ帰ったような気がします。簡単に（気

軽に）話せるし、心配してくれることもあります。里親さんの家へ行く時、自分の家に帰った感じがします。里親さんにより日本で家族ができた感じです。田仲さんのおかげでいろんな経験をしました。一番よかったのは熊野大花火に行った時です。すばらしかったです。このままもっともいい経験したい、日本についていろんなことを知りたいです。里親さんできてよかったです。田仲さんの家族に本当にありがとうございました。



ゴドヌ ロカー
(ベナン)

里親とのふれあい

例年のように、里親里子対面の会が6月30日に開催されました。私は新しい里子ではないですが、参加することができて、もう一度暖かな場面を実感しました。一人一人名前が呼ばれ、世話になる里親と一緒に立って、留学生の皆さんは「日本でたった一人ではない」といった暖かい気持ちだろう。まるで昨日のことのように、私の頭に里親とのふれあいが浮かんできました。

私は大阪府立大学大学院に在籍して、電気・情報を専攻しています。里親である西村さんと出会ったのは4年前、学部時代のことでした。日本の文化を理解したいという気持ちで、大学の国際交流課を通して参加することになりました。恵まれた環境で留学生の私が日本の家庭と触れ合いことができ、大阪で暖かい家族の一員として異文化を体験しています。

初めての対面会の気持ちを思い出すと、緊張しながらどんな家族と出会うかを期待するような感じでした。西村さんの里子になってから、あっという間に4年が経ちました。今年新しい里子を入れて、中国、韓国、インドネシア、カンボジア、サウジアラビア、イギリス、タイ7カ国の留学生がいます。毎月一回に西村さんの家で食事をしています。いつも全員が揃うわけではないですが、来た人はお母さんの料理を手伝い、そして料理をはじめ、いろんな話題で話し合います。学校で困った事とか、普段の生活で感じたことなど、集まるたびに雰囲気がいぎやかで、楽しく時間を過ごしています。特にクリスマス、旧暦の新年のような日はお母さんだけではなく、里子の皆さんも自分の得意な料理を作って、各国の料理を試しながら盛り上がりますね。

また会のイベントとして、年に一回バスツアーと新年会が行われます。バスツアーは丸一日を使い、観光や工場見学に行きます。一昨年は住吉大社に参拝した後、関西国際空港の周りを見学しました。自分がなかなか行けない所まで行って、他の里親家族との交流もでき、本当に日本文化を少しずつ感じているような気分でした。新年会では日本伝統的な演出もあって、留学生からの踊りもあり、新年を祝いながら各国文化の違いに触れる場でもあります。この新年会でもう1つ楽しめるのが和服を

着ることです。このおかげで私は人生で初めての和服体験ができました。特に「よく似合いますね」と言われたときに、日本社会に入り込んだ感じがして、嬉しかったです。

私はこの「留学生さんとおやの会」に参加することで、自分の心を広げることもでき、身近に日本人の生活を実感することもできたと思います。里親との交流が続いた4年間で自分の考え方が変わりつつあります。最初はなかなか口を開くことができないシャイな私でしたが、人と交流することが好きで、教わるよりも自分から教わりたいと思うような私になってきました。里親から色々教えてもらったので、私はこの絆を大切にしていきたいと思います。「留学生さんとおやの会」は留学生の私の心の成長のために、大いに役立っています。日本で学んだこと、日本で感じたこと、こういったものを活用し、これからは大阪や日本と中国の架け橋になっていきたいと思っています。長い間、世話になった西村さんに心から感謝しています。「留学生さんとおやの会」は更なる飛躍を祈ります。



恵明
(中国)



集まり

2012 年度対面の会

6月30日（土）留学生さとおやの会10周年式典、パーティに先立ち、13時より大阪商工会議所白鳳の間において、平成24年度の対面の会を開催いたしました。今年はいつもよりも多い43人の留学生を受け入れました。

西村貞一代表幹事の挨拶に引き続き、ご来賓として大阪商工会議所理事、国際部長の上月康嗣氏よりお言葉を頂戴した後、里親と里子の対面式です。田仲八重子幹事の司会のもと、アシスタントは中国からの留学生王洋くん。留学生はドキドキ緊張の中の名前を呼ばれて、里親と対面します。ようやく対面した里親と握手する満面の笑みの留学生、ホッと安心する姿が見て取れる瞬間です。

これからの日本での生活、里親さんと楽しく思い出深い交流になります事を願っています。



☆ホームページが新しくなりました。

ホームページを新しく更新しました。是非ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.craypas.com/satooya/index.html>

トップ画面にある「最近の活動」からログインすると行事の写真を見ることができます。ダウンロードも可能です。

(ログイン) 「フォト蔵」にジャンプ
メールアドレス satooya@craypas.co.jp パスワード satooya
↓
「留学生さとおやの会マイページ」
↓
 をクリック



※現在会員の広場は工事中です。

☆ご家庭で使わなくなった物ありませんか？

ご家庭で使わない物を留学生に使っていただくことができます。

服（古着は洗濯済み）、食器、電化製品（耐用年数可能な物）があればご連絡ください。



10周年記念式典・パーティにはたくさんの方のご参加をいただき、ありがとうございました。10年の重みを感じ胸に刻み、今後も引き続き活動していきたいと思っております。今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。本活動にご興味のある方がいらっしゃいましたら、随時ご紹介いたしますよう、よろしくお願いいたします。

（事務局）